

# 競技麻雀を楽しみましょう！ 「段審月例会」にぜひご参加を！

神奈川県麻雀段位審査会（段審）では、毎月第2日曜日に競技麻雀の月例会（略称＝MJ会）を開催しています。競技麻雀に興味のある方は、ぜひ、お気軽にご参加ください。

参加ご希望の方は、下記事務局あてにご連絡ください。

◆開催日時＝毎月第2日曜日・午後1時競技開始

◆会場＝『ロン』

横浜市中区本町 6-54 味奈登庵ビル 2F

TEL045-201-7571

◆競技方法＝50分打ち切り半荘4回戦

◆ルール＝全国麻雀段位審査会ルールに基づく神奈川県麻雀段位審査会月例会ルール（別掲）

◆参加費＝4,000円（1開催につき）

※成績優秀者は月間賞、年間賞、段位免許状の贈呈・昇段、県大会・関東大会への派遣などの特典を得られます。

【事務局】〒220-0004 横浜市西区北幸 2-9-40 銀洋ビル B1  
TEL045-620-3558 FAX045-620-2615

## 【段審とは？】

「段審」とは「麻雀段位審査会」のこと。競技としての健全な麻雀の普及、麻雀競技の品格・技術の向上を目的として、昭和48年に全国麻雀段位審査会（全段審）が発足し、麻雀段位免許状の発行、全国規模の麻雀大会開催などの事業を進めてきました。以来、全段審段位の取得者は延べ2万5千人余りに達しています。

全国麻雀段位審査会の下部組織として関東地区段審など全国9つの地区段審、その下に各都道府県段審があり、段位免許状発行の実務、各地区大会・都道府県大会の開催などを手がけています。

## 神奈川県麻雀段位審査会月例会ルール

1. 全局を1翻縛りとし、2翻場とする。
2. サイコロはすべて1度振りとする。
3. 持ち点は3万点とし、加減法を採用する。
4. 形式テンパイを認める。
5. ありありルール（食いタン・中ツケ・後ツケあり）。
6. フリテンリーチを認める（ただし、ツモアガリに限る）。
7. リーチ一発・裏ドラ・カンドラ・カン裏ドラ——すべてあり。
8. 親がテンパイなら連荘とする。  
九種倒牌・四風連打・四槓子による流局も連荘とする。  
チョンボ（親・子とも）は親の連荘とする。
9. 2人または3人の同時アガリはなし、アガリは上家優先とする。
10. 4人リーチは流れない。
11. パオは、大三元の3種類目の三元牌をポンさせたとき、また四喜和・清老頭・字一色・緑一色・四槓子の4種類目のその役満を決定づける牌を副露させたとき。ツモアガリの場合はパオ打牌者の1人払いとし、放銃の場合は放銃者とパオ打牌者の均等払いとするが、積み場があれば放銃者が支払う。
12. 積み場は1本場につき300点。
13. ノーテンは親流れ。オーラスで親がノーテンなら、ゲーム終了とし、リーチ棒は供託者（出した人）に戻す。
14. リーチ後の暗槓は、牌姿が変わらなければできず。
15. リンシャンカイホウ（嶺上開花）はすべてツモ扱いとし、ツモ符2点を加える。
16. 30符6翻、60符5翻は満貫とする（親12,000点、子8,000点）。8翻でハネ満、10翻で倍満、13翻で3倍満、役満は4倍満とし、ダブル役満・数え役満はなしとする。
17. チョンボは満貫分の支払いとする。
18. 次の行為をした者はアガリ放棄——多牌・少牌・先ツモ・誤副露・

他家の手牌やワンパイ（王牌）を見た者・手牌の一部か全部を公開した者。

19. 次の行為をした者は 1,000 点の罰符——ポン・チー・カンの発声後、打牌の前にその行為を中止したとき。
20. ワンパイ（王牌）は常に 14 牌とする。
21. 先ツモは厳禁。邪魔ポンや明らかに遅いポン・ロンも不可。
22. チートイツ（七対子）は 25 符 2 翻（基本点は親 2,400 点、子 1,600 点）とする。
23. ポン・チー・カン・ツモ・ロン・リーチは、必ず対局相手に聞こえるように明確に発声すること。
24. 加減法の順位点は次の通りとし（※同点の場合は順位点を折半とする）、持ち点 30,000 点以上を勝ちとする。

	1 位	2 位	3 位	4 位
1人勝ち	+ 12 点	- 2 点	- 4 点	- 6 点
2人勝ち	+ 8 点	+ 4 点	- 4 点	- 8 点
3人勝ち	+ 6 点	+ 4 点	+ 2 点	- 12 点